

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ドーナラボひやごん			
○保護者評価実施期間	2025年 5月 12日		～	2025年 5月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間	2025年 5月 12日		～	2025年 5月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 29日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの安心できる場所	大人数で関わる子、少人数で関わる子、1人の時間を過ごす子など、それぞれの特性に合った場所の環境を提供している	児童それぞれの特性に合わせ、本人の状況に応じてスモールステップで他者との交流や自分の時間を設ける環境を作ることで、こどもたちが安心して通所が継続できるように今後も取り組んでいく。
2	こどもの居場所、保護者が相談できる場の提供	登校に対する不安を抱えている児童、保護者からの相談や要望を聞き、本人が気持ちの整理ができ、学校へ登校できるまでの支援を行なっている。	こどもや保護者が抱えている不安な気持ちを傾聴し、子どもや保護者にとって適切な支援を行いつつ、またデイに依存しないように学校とも連携を図っていく。
3	好きなこと興味があることに取り組める場所	こどもたちの好きや得意、興味のあることを事業所内の教材を使い自身のスキルを高めていくことやまだそれが見つけられていない子でもいろんなことに興味を持てる環境を整えている。	好きや得意を見つけ、取り組むことにより成功体験が増えることで、本人たちの自信につながるような支援を行なっていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後等児童クラブや児童館で地域の児童との交流	利用児童それぞれの思いや気持ちもあるため、容易に地域の児童との交流を行うことに抵抗がある。または慎重に計画を立てないといけなない。	交流を持ちたい児童、そうではない児童もいるのでそれぞれの児童に合わせて、まずはスモールステップとして対象地域から外れた場所から他地域の児童との交流を図れるように取り組むを行っていく。
2	父母の会、保護者会の開催	今年度については保護者会の計画を立てることができておらず、開催することができずにいた。	開催日など保護者の意向も確認しつつ、保護者会や父母の会が開催できるようにアンケートなどを利用し、対応していく。
3	災害などの訓練等の報告	訓練実施後は、広報等にて報告を行なっているが、実施日については保護者への報告を行なっていなかった。	訓練実施後の報告だけでなく、実施日の報告やスケジュールなども保護者へ共有し、必要であれば訓練内容（避難場所、災害が起きた場合の連絡方法等）も共有できるように対応していく。